

## JA 全農 ET センターニュース平成 19 年 10 月号

2007 年 8 月、アメリカ合衆国カリフォルニア州モンレー市においてアメリカ受精卵移植研究会が開催されました。今回は、アルゼンチンで大規模に受精卵移植事業を行っている IRAC という会社の Dr. Bo の講演について報告させていただきます。彼らは、凍結胚の定時受精卵移植（薬剤による発情誘起処置を施し、発情の有無に関わらず移植適期に黄体があれば決まった日時に ET を行う）の受胎に関わるさまざまな要因について解析しています。

発情兆候	受胎/移植(%)	移植部位	受胎/移植(%)	移植師	受胎/移植(%)
兆候あり	517/924(55.9)	子宮角深部	246/441(55.7)	A	313/542(57.8)
兆候なし	219/409(53.5)	子宮角中部	482/872(55.3)	B	423/791(53.5)
		子宮角入口	8/22(38.1)		
黄体直径	受胎/移植(%)	胚ステージ	受胎/移植(%)	季節	受胎/移植(%)
16mm 以下	128/228(56.1)	桑実胚	259/468(55.4) <sup>ab</sup>	秋	310/562(55.2)
16～18mm	208/369(56.4)	初期胚盤胞	275/463(59.4) <sup>a</sup>	春	33/69(47.8)
19mm 以上	400/736(54.3)	胚盤胞	179/344(52.0) <sup>bc</sup>	夏	393/702(56.0)
		拡張胚盤胞	23/58(39.7) <sup>c</sup>		
黄体数	受胎/移植(%)	胚の品質	受胎/移植(%)	移植時間	受胎/移植(%)
1	673/1220(55.2)	非常に良い	691/1262(54.8)	3 分以内	251/385(55.8)
2	53/99(53.5)	良い	37/58(63.8)	3～6 分	372/655(56.8)
3	10/14(71.4)	低ランク	8/13(61.5)	7 分以上	42/82(51.2)

a,b：異符号間に有意差あり。

1,333 個の凍結胚の受胎率に関して、発情兆候の有無、黄体の直径、移植時黄体数、移植部位、胚ステージ、胚の品質、移植師、季節および移植時間の 9 つの要因について調査を行ったところ、移植胚のステージ間のみ有意な差があったことを報告しています。一般的に拡張胚盤胞の凍結保存は、受胎率を低下させることが世界中で示唆されています。しかしながら、全農 ET センターにおいて凍結された胚のステージ間の受胎率に差は観察されていません（データ未掲載）。これは、我々が特許を有する全農ダイレクトメディウムの組成が、拡張胚盤胞の凍結にうまく適応していることを示しているのかもしれませんが。